



未来の環境のために

校長 清水 誠

全ては、ウミガメの動画から始まりました。カメの鼻からストローを引っ張り出す、胸を突き刺すような動画でした。瞬く間に、プラスチック製のストローを禁止する動きが世界中に広がりました。日本もレジ袋の有料化を目指すことになりましたが、人々の意識改革にどれだけつながっていくのでしょうか。その前に、ゴミを落とさない人間の育成が重要です。

先日、4年生に環境教育出前授業がありました。授業をしたディレクトフォースの方々も、かつて化学製品やリサイクル関連の企業に勤務されていました。各専門分野の知識を活かし、環境問題に関心をもたせたいという熱意で開発したプログラムでした。授業の最後に、粉碎したペットボトル片を熱すると、繊維製品に作り替えることができる様子を手作りの実験装置で演示する場面がありました。きちんとゴミを分別し、リサイクルの大切さを子どものうちから徹底して教えることが、将来の社会を左右することにつながります。地球温暖化問題や、オゾン層の破壊など、環境問題が生じるたびに教科書に盛り込まれてきました。きっと、プラスチックによる海洋汚染も、早急に教科書に掲載され、小学生のうちから正しい知識をもたせる動きになるでしょう。

6年生の移動教室中でのことでした。弁当を食べた後にいつもゴミが落ちていて、学年の先生達が繰り返し指導をしてきました。割り箸の袋、その中に入っていた爪楊枝、ビニール袋、輪ゴム・・・食べ終わった後に全員を集め、「これだけのゴミが落ちていたのは、一人や二人の問題ではない」と、厳しく注意をしました。そして最終日。森將軍塚古墳を見学してから古代住居跡の広場で、移動教室最後の弁当を食べることになりました。ゴミを絶対に落とさないこと念押しして、班ごとに分かれて昼食の時間になりました。

食後の集合の合図とともに、引率した先生達と一緒に子ども達がいた辺りを点検して回りました。ビニール袋に入った使い捨てのおしぼりが、3つ集まりました。こういう時の教員は、怒りを通り越して情けなさを感じるものです。でも、目の前の子ども達を何とか良くしようと指導しなければなりません。究極の指導法を選択しました。全員のリュックサックから弁当のゴミを全て出させ、おしぼりが入っているかどうかを確認しました。ようやく3人の子が、気まずい顔つきで前に出てきました。先生達がそっとゴミを捨ててバスに乗れば、何事もなく帰路についていたでしょう。しかし、どうしても指導しなければならないという教師の熱意がそこにありました。

ゴミを落としてはいけないということは、誰もが口にします。しかし、その実践力は伴っていません。環境問題に向けた行動力が身につくように、子どものうちから徹底した教育が必要です。

～子どもたちの

遠足（1年生）

1年担任

5月31日（金）に、光が丘公園へ遠足に行きました。安全に気を付けて、友達となかよく、そして公園の約束を守るというめあてをもって行きました。

ちびっこ広場では、3、4人のグループで遊ぶことを決めて、アスレチックや遊具でたくさん遊びました。きちんと順番を守ったり、譲り合ったりすることもできました。たっぷり遊んだ後のお弁当は、とてもおいしそうな笑顔で食べていました。きちんと自分の荷物をまとめることもできました。午後は、クラス遊びや学年遊びも楽しみ、満足した笑顔で学校に帰ってくることができました。



田植え（5年生）

5年担任

6月4日（火）に、埼玉県川島町の学習田で田植え体験をしてきました。吉田茂雄さんや川島町の島村農園さんのご協力を得て、田柄小で伝統的に続いている行事のひとつです。

当日は天候にも恵まれ、広い田んぼで昔ながらの手植えを経験することができました。ぬかるんだ泥の中に入ると、初めての感触に子どもたちから歓声や悲鳴が上がりました。農家の方々の指示に従って、2～3本ずつ心をこめて植えていきました。すぐにこつをつかみ、上手に植えることができました。秋に、実ったお米を収穫に行くのが今から楽しみです。

環境教育出前授業（4年生）

4年担任

社会科で、「ごみの始末と再利用」について学習をしてきました。6月5日（水）に、ディレクトフォースの方々から、環境問題を取り上げた出前授業をしていただきました。

水の中のプラスチックのフレークを種別する実験では、塩を入れることでプラスチックの種類が分けられることを教わりました。最後の細かく砕いたフレークを温める実験では、子どもたちから驚きの声が上がりました。「綿あめみたい。」「細い糸だ!」と、夢中で見つめていました。

社会科では、3R運動（リユース、リデュース、リサイクル）を学びました。今回の出前授業を通じて、実際にペットボトルがどのように繊維として再利用されるのを見ることができ、貴重な体験となりました。



学校生活 ～

武石移動教室（6年生） 6年担任

6月10日（月）～13日（木）に、長野県の武石に移動教室に行ってきました。事前学習を通じて、上田市や武石、さらに見学地について調べ、意欲を高めて移動教室の日を迎えました。

今回の移動教室では、武石周辺の豊かな自然にたくさん触れ合うことができました。車山リフトや鷹山ファミリー牧場、村内ウォークラリー、美ヶ原高原美術館など、全ての活動に気持ちよく取り組むことができました。

3日目の夜には、キャンプファイヤーも行いました。大きな火を囲み、「友情」「勇気」「感謝」「希望」を誓うことで、さらに学年としての絆が深まりました。一つの大きな行事を終えて、子供たちはまた大きく成長しました。今後も学年で協力しながら、学校のリーダーとしてがんばっていきます。



水道キャラバン（4年生） 4年担任

6月13日（木）に、体育館にて東京都水道局の職員の方々をお招きし、「水道キャラバン」が行われました。水道局の方々による楽しい劇や実験を通して、水に対する理解を深めることができました。

お話の中で、一人が一日に飲む水の量が500mLのペットボトル6本分であることや、一人が使用する水の量は、お風呂・食事・洗濯・・・を含めて、なんと200Lにもなるということなど、貴重なお話をたくさん聞くことができました。

身近な水ですが、まだまだ知らないことがたくさんあります。7月の社会科見学では、虹の下水道館や有明水再生センターに行って学習をしてきます。社会科の授業を通して、「水」をテーマに学習をさらに深めていきます。



ふれあい大相撲 6月8日（土）

毎年、学校の近隣にある峰崎部屋の力士さんにお越しいただき、子ども達との交流を行っています。今年も3人の力士さん達に田柄小に来ていただき、楽しい交流をすることができました。

綱引き対決では、子ども達が力を合わせて挑戦しました。また、お待ちかねの「お相撲をとろう！」のコーナーでは、子ども達が次々と土俵に上がり、何人もの力を合わせて挑みました。一生懸命押しもびくともしない体に、みんなびっくりしていました。力士さんは、土俵の中を逃げ回ったり、一人一人を持ち上げたりと、いろいろな妙技を駆使しながら子ども達に応戦していました。とても大きくて強い力士さん達とふれ合うことができた「大相撲」になりました。



《7月の行事予定》

日	曜	主 な 行 事
1	月	全校朝会
2	火	社会科見学(4)
4	木	元気アップタイム 学力向上を図るための調査(5)
5	金	安全指導 委員会活動
8	月	全校朝会
10	水	歯垢テスト(4)
12	金	クラブ活動
13	土	土曜授業公開日(3時間授業) 情報モラル講習会(5)
15	月	海の日
16	火	たてわり班活動
17	水	集団下校訓練
18	木	着衣泳指導(5)
19	金	終業式(5時間授業)
20	土	夏季休業日始
22	月	科学実験教室(低・中・高)
23	火	夏休み学習教室① 愛宕神社金魚市
24	水	夏休み学習教室②
25	木	夏休み学習教室③
26	金	夏季水泳指導①
27	土	葉かげの集い(10時～)
29	月	夏季水泳指導②
30	火	夏季水泳指導③
31	水	夏季水泳指導④

運動会リレーの変更について

今年度の運動会は9月28日(土)に行われます。田柄小学校では昨年度までリレー種目として、低学年リレー(1・2・3年、男女混合)、高学年リレー(4・5・6年女子)、高学年リレー(4・5・6年男子)の3種目を行ってきました。しかし、1・2年生については、「周回リレーが学習指導要領の内容を超えたものであること。また、休み時間の練習だけで、1・2年生にコーナーを正しく走らせることが困難であること」が毎年課題として挙がっていました。さらに、運動会全体のプログラム数が多く、全体の時間短縮を図ることも課題となっていました。

そこで、校内で検討を重ねた結果、今年度からは中学年リレー(3・4年男女混合)、高学年リレー(5・6年男女混合)の2種目を行うことにしました。ご理解をお願いいたします。

情報モラル講習会

先日お便りを配布いたしましたが、下記の通り情報モラル講習会を行います。児童のネット利用やトラブル事例などについての講習会です。ぜひ、多くの保護者の参加をお待ちしております。

日時 7月13日(土) 5年生児童 2校時
保護者 3校時
場所 音楽室(南校舎3階)

お知らせ

6月11日から学校生活臨時支援員として、小原沙綾(おはらさや)さんが着任いたしました。学級に入り、子供たちを支援していきます。月・火・木・金の週4日勤務いたします。どうぞよろしく願いいたします。

7月の生活指導目標

「暑さに負けず生活しよう」

生活指導部

まだまだ雨の多い日が続いていますが、気温の高い日も増え、蒸し暑くなってきました。学校では、暑さに負けずに生活できるように、小まめに水分補給をすることや、汗ふきタオルで汗の始末をしっかりとるように子供たちに呼びかけています。また、教室の冷房も屋内外の気温差が大きくなりすぎないように適温を心がけ、体調管理にも注意をしています。座席により、暑い寒いが異なります。脱ぎ着できる服装をお願いします。ご家庭でも、夏の暑さに負けないように、早寝早起き、バランスの良い食事等にご配慮いただければと思います。